

編集後記

博士号取得後、プラズマ・核融合コミュニティの皆様には叱咤激励を受けながら、“若手”研究者として実験研究に従事して、気が付けば10数年の歳月がたとうとしています。“もう若くないのか？”とうすうすと感じながら、まだまだ若手と自分に言い聞かせる日々です。健康診断の数値にショックを受け、ウォーキング、ジョギング、ロードバイク、エアロバイクをはじめ、食事にも気を付けた結果、この1年で10 kg 以上減量しました。血液検査の結果も大分改善されてきたのかと思っています。今後筋肉増強をめざして活動中です。さて、ここ数年、電子の熱力学的な特性に関して実験を行ってきましたが、文献を調べるうちに、カロリー摂取、プロテイン、代謝、体重増減などの関係を熱力学で記述する論文を見つけ、Human Thermodynamics という分野があることを知りました。関係ないと思っていた事象でも実は共通の物理があるケースが多々存在しており、普遍性ある実験を行うことで、プラズマ・核融合研究の発展

に貢献できればと思っているところです。

週末に息子が入っているサッカースポーツ少年団のコーチをしているのですが、ここでも大学における研究教育との共通事項があって、サッカーを楽しむ子ほど上達が早く、実験を楽しむ学生ほど良い結果を出してくれます。自身でも、自由に物事を考える時間が取れるときに良い結果が出ることを、海外での研究を含めた10数年で痛感しています。大学の業務が煩雑化し、研究の時間を確保することが難しくなっている現状ではありますが、実験を楽しむ姿勢を失わないように心がけていきたいと思うこの頃です。

最後に、新型コロナウイルスの感染拡大により、小学校が休校となり、子どもたちがサッカーをすることもできない日々が続いています。WHO がパンデミック宣言を出しましたが、何とか終息に向かってほしいところです。プラズマ・核融合コミュニティの皆様もお身体に気を付けてお過ごしください。(高橋和貴)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長	森 雅博
副 会 長	豊田浩孝 (推薦委員長：学会賞, 男女共同参画委員長) 竹入康彦 (推薦委員長：研究助成, 研究部会連絡会委員長)
常務理事	下妻 隆 (総務委員長)
理 事	浅野史朗 荒巻光利 大野哲靖 (企業展示検討委員長) 岸本泰明 (年会運営委員長) 木戸修一 (財務委員長) 小西哲之 坂本瑞樹 (編集委員長) 齊藤輝雄 篠原孝司 神野雅文 (企画委員長) 中井光男 長谷川晃 (広報委員長, 支部・地区研究連絡委員長) 和田 元 渡邊隆行
監 事	利根川昭, 中村圭二

プラズマ・核融合学会 領域長

基礎 荒巻光利 応用 豊田浩孝 核融合プラズマ 大野哲靖 核融合炉工学 小西哲之

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：坂本瑞樹(筑波大) 副委員長：荒巻光利(日大)
エディタ：酒井 道(滋賀県立大), 比村治彦(京都工繊大), 波多野雄治(富山大), 城崎知至(広島大), 藤田隆明(名大), 村上定義(京大)
編集委員：浅井朋彦(日大), 有川安信(阪大), 池添竜也(九大), 諫山明彦(量研), 今寺賢志(京大), 岩田夏弥(阪大), 宇佐見俊介(核融合研), 大塚哲平(近畿大), 小川大輔(中部大), 乙部智仁(量研), 小柳津誠(量研), 桑原大介(中部大), 栗田弘史(豊橋技科大), 小林 真(核融合研), 齊藤誠紀(山形大), 齊藤晴彦(東大), 清水鉄司(産総研), 高橋和貴(東北大), 竹田圭吾(名城大), 田中宏彦(名大), 辻村 亨(核融合研), 時谷政行(核融合研), 松下恭子(東京理科大), 森田太智(九大), 安原 亮(核融合研), 山田大将(長野高専), 吉田雅史(山口大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第96巻第4号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2020年(令和2年)4月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspfor.jp URL: http://www.jspfor.jp/ 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。